

地域計画策定に係る地区座談会(石塚地区・小松地区) 議事録

石塚地区(城里町大字石塚、那珂西、上泉)

小松地区(城里町大字増井、磯野、上入野)

1. 日 時 令和6年2月11日(日) 午前10時00分～正午
2. 場 所 コミュニティセンター城里「サークル室」
3. 関係者の出席 農業委員5名、農地利用最適化推進委員3名
認定農業者8名、新規就農者1名、地区区長7名
一般及び地区内農家4名、多面交付団体3組織
4. 関係機関の出席 水戸農業協同組合1名、茨城県県央農林事務所3名、
茨城県農地中間管理機構1名、那珂川沿岸土地改良区1名
那珂川統合土地改良区1名、常北土地改良区1名
5. 事務局の出席 城里町農業政策課9名、城里町農業委員会事務局3名
6. 開 会
7. あいさつ 城里町農業政策課長
8. 地域計画について(城里町農業政策課より説明)
(1) 今までの「人・農地プラン」から地域計画策定までの経緯について
(2) 「地域計画」の策定について
9. 「人・農地プラン」における中心経営体の位置付けについて
(城里町農業政策課より説明)
10. 畑地帯総合整備事業について
(那珂川沿岸土地改良区、茨城県県央農林事務所より説明)
11. 質疑応答

(質疑応答・意見交換概要)

○農業委員

- ・人・農地プランの中心経営体とはどのようなものをいうのか？
地域おこし協力隊には、将来の経営思考(どうしていききたいかということがあるかと思うが)将来の中心経営体になってもらわないといけないと思う。
町ではどのような基準で中心経営体になれる要件を設定しているのか。
何年で中心経営体になれるのか？

●城里町農業政策課

- ・人・農地プランの中心経営体は、認定農業者、認定新規就農者を主軸に置いています。地域おこし協力隊員においては、(隊員期間最長3年)卒業した時点で認定新規就農者になれるようなカリキュラムを組んでいます。認定新規就農者になった時点で中心経営体に位置付けになる予定です。

(補足) 地域の話し合い(座談会)の後、有識者による検討会を経て、中心経営体に位置付けられます。

○地区区長

・今後農家は少なくなっていくと思う。これは食料問題もあり、町ばかりでなく国の問題でもあると思う。次の4点について確認をさせていただきます。

- ①人・農地プランの経過の説明がありましたが、人・農地プランについてどういことが決まったのか、またどういことが具現化したかについて教えていただきたい。
- ②農家への意向調査を行うと説明がありましたが、調査内容についてよく分かりませんでした。私の意見としては、新規の人が設備投資が大変なので農機具取得できる仕組みづくり（町による仲介）等も意向調査に盛り込んではどうかと思ひます。
- ③境木がなくても農地が分かる技術を活用し、1枚の畑で耕作できるようにしていきたいが今後このような計画はあるのでしょうか。（GPS、地中埋設等）
- ④今回の座談会についての議事録をいただきたい。

●城里町農業政策課

- ①町ホームページにおいて、人・農地プランの決定事項について公表しておりますが、今後開催される座談会等においてもお示させていただきますと思ひます。
- ②意向調査については、今後どのようにするか検討中ですが、おもな調査事項は今後の経営意向、現在の耕作農地の状況等を調査する予定です。国で決まっているものと町で決められるものを選びつつ、農業委員会等に相談して決定したいと思ひます。
また、農機具の仲介を意向調査へ盛り込むことについては検討させていただきます。
- ③地区より土地改良要望があれば、基盤整備等に併せて活用することを検討したいと思ひます。
(③について県央農林事務所からの補足として)
- ③についてはGPS、地中埋設をすると、集積しやすくなり権利もはっきりする。
- ④議事録について町窓口で閲覧できるよう準備します。また次回座談会においてお示したいと思ひます。

○農地利用最適化推進委員

・地域計画に併せて土地改良（畑）の説明があつたが関連性が分からない。地域計画と土地改良はセットになるのでしょうか。説明では、セットでやっていくように聞こえた。鶏が先か卵が先か？という話からしていかななくてはならないのでは。地域計画の話をもずしなければならぬのに、土地改良の話が入ってくると、どちらをどのようにを進めたら良いのか分からない。

●城里町農業政策課

・地域計画自体が農業の全て。土地改良のことも地域計画に含まれている。関係者を巻き込んでいる話し合いなので、議論、意見交換して地域を理想の形にす

るための意見交換だと思って欲しい。根幹だと思っていただきたい。

12. 意見交換

○農業委員

- ①今回の座談会のような学校方式（講義形式）では顔が見えない。なじまない。意見も出ない。会議のあり方を検討して欲しい。（普通の言葉で会話出来るような方式（テーブルを囲んで意見交換等）で座談会を開催して欲しい。）
- ②地域計画の目的（目標）が説明では分からなかった。大規模農家が団地を作って大きくやっていくのを目標として定めるのか、小さな農家の意見もすべて取り入れながら5年後10年後の計画を立てていくのか。目的（目標）がなければどうしますかと聞かれても意見は出てこない。
- ③集積集約することで生産性は上がると思うが、果たしてそれだけで良いのか。売ってお金を儲けなければならないと思う。地域計画でこの点についてどのようにしていくか。
- ④なるべく役場の用語ではなく、平易な言葉で説明して欲しい。

●城里町農業政策課

- ①今回の学校方式（講義形式）では意見が出づらと思います。次回は、テーブルを囲んで意見交換等が出来るような形で行いたいと思います。
- ②今回の一番の目的は、情報共有。（今回）地域計画座談会では物足りないかもしれませぬ。全国的に地域のことを自分たちで考えなければならない時が来たと考えて欲しいと思います。
- ③売り上げのこともあるのでJA等いろんな所を巻き込んでいこうと考えております。大きいこと小さいことを吸い上げて、次のテーマを作り上げていきたいと思います。

○認定農業者

- ・大規模経営農家についてどう考えているのか。（今回の座談会の出席者が認定農業者の出席が多いので）地域計画の対象は中心経営体（認定農業者）のみなのでしょうか。また中心経営体（認定農業者）が行っているほ場以外の耕作地は地域計画の対象地外と考えるのでしょうか。

●城里町農業政策課

- ・意向調査を基に目標地図を作っていきます。座談会には認定農業者以外にも周知しています。大きくやっている農家の方が小さな農家の方よりも関心の高い人が多く、実態としては大きくやっている農家の参加者が多くなったと思われます。大きくやっている農家と小さな農家の意見を取りまとめた（共存した）地域計画（目標地図）を作っていければと思います。

○地区区長

- ・城里町も今後、観光農業の振興を考えて欲しい。桂地区においては今後新規で果樹を経営する方がいると聞いている。せつかく道の駅も新しくなるのだから町で観光農園のほ場等を準備したりするなどを考えて欲しい。（今回の座談会の

石塚・小松地区の話ではないが) 個人で準備するのは大変である。このことに対しての回答は不要です。

○地区区長

・議事録のホームページに掲載するのか。

●城里町農業政策課

・議事録のホームページに掲載については検討いたします。

13. 閉 会